

H26保護者アンケート記述内容と学校回答

	保護者記述内容	学校の回答
1	「学校は保護者や地域住民の意見を取り上げようとしている」の項目ですが、実際に取り上げられているのか否か不明です。どんな意見があつてどのように取り上げられたのか知らせていただけるとありがたいです。	貴重なご意見をありがとうございました。すべての保護者の方にお知らせすることができていなかったと反省しています。そこで本年度より、保護者の記述内容と学校の回答をホームページ上でお知らせするように改善しました。
2	学校評価をすることで、学校の姿勢が崩れることがあってはならないと思います。子どもの個性も大事ですが、社会に適応するためには多少の我慢もささなくてははいけませんし、保護者や地域住民の意見を取り上げることばかりを気にしていれば、一本筋の通った教育が難しくなります。先生方には先生方の個性を發揮していただいて、伸び伸びと子どもと関わってくださればと思っています。	学校評価は、子どもたちがより良い学校生活を送れるように学校運営の改善と発展を目指すために行っています。保護者へのアンケートは、学校の取組を反省する材料として使わせていただき、職員で話し合い、今後の教育実践に活かしていきます。たくさんの意見の中から本当に大切なこと、必要な取組をしっかり判断していきたいと考えています。
3	帰りはなるべく歩いている同じ方角の子どもたちで、できるだけ団体で帰るように心がけてほしいと思います。	「みんなで歩こうデー」の取組を前向きにとらえている方が多く、うれしく思います。徒歩通学の児童が増えてきましたが、もっともっと増えることを願っています。そこで来年度より毎週木曜日を「みんなで歩こうデー」にしたいと考えています。「歩こうデー」の日は、早起きをしている子が多いため、朝から勉強に集中できているようです。また、交通指導をしてくださっている学校支援ボランティアの方に元気にあいさつをしたり、ジャンケンをして遊んでもらったりする微笑ましい光景も見られるようになりました。もちろんしっかり歩くことで運動量が増え体力もついてきます。徒歩通学、外遊びを奨励し、体育の時間を充実させ、子どもたちの体力を向上させていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いたします。
4	徐々にではなく来年度からは特別な理由がないかぎり徒歩で通学を決定すればいいのになと思う。	
5	夕方(下校時)でも、歩こうデーを始めてほしい。子どもたちだけで安心して下校できるように考えてほしいです。	
6	取組の成果で徒歩通学の児童が増えてきたように思う。	
7	体力をつけるためにも、朝のマラソンや体力向上の運動を取り入れてほしい。子どもの体力作りを休み時間を利用してつけてほしい。	
8	幼稚園、保育所、中学校との間に垣根を感じる。年代を超えて一緒にできるイベントや交流があればもっと人間関係が豊かになるのではと思う。	幼稚園との交流は盛んに行っていますが、保育所や中学校との交流はあまりできていません。また、小星園や民生委員さんと交流したり、地域の方のご指導の下、食育活動に取り組んだりしていますが、まだまだ地域の人との交流はできると思われます。前向きに検討していきます。
9	可能な限り地域の人との交流の機会を増やすべき。	
10	未成年者による犯罪で理解に苦しむことが起きている。命の大切さ尊さを考える機会をもっと増やしていただければありがたい。	全校を挙げて人権教育、道徳教育にしっかりと取り組んでいき、自分も人も大切にすることを育てていき、互いに支え合う仲間づくりを進めていきたいと考えています。ご家庭でも子どもたちと一緒に考えたり、話し合ったりする機会をつくっていただけるとありがたいです。
11	人の失敗などからかたたりする生徒がいないように全校生徒が助け合い、支え合いができる指導をお願いします。	
12	授業で勉強がわからないとき、生徒が後から教えてと言ったときは、時間を利用して教えてあげてください。	休み時間や放課後を利用して、担任の先生が個人的に指導をしています。その時間だけでは不十分なこともあるため、家庭でも継続的な取組をお願いいたします。
13	子どもには成長面で個人差があります。一人一人にあった教え、説明など工夫して生徒に教えてください。	一人一人をよく見て指導していくことを心がけていますが、配慮が十分でない場合があるかもしれません。全職員で一致団結し、努力していきます。気になることがありましたらご連絡ください。
14	今年の表現会も学年に応じた子どもたちの成長をうれしく観させていただきました。ただひとつ残念だと思ったことは「妖怪ウォッチ」と「ダメよ～ダメダメ」に頼りすぎたのではないかとということです。子どもたちがそれぞれで話し合い決めていったことだとは思いますが、流行物に頼るのではなく、まず自分たちの創意工夫で表現会を盛り上げてほしいと思います。	各学年の発表内容については、子どもたちと先生方が相談して決めています。今年は劇をする学年が多く、ご指摘の通り、内容が重なっていた部分がありました。学年間での擦り合わせが不十分だったと反省しています。子どもたちの意見を尊重しながら、教育的意義を考え、工夫して取り組んでいきます。

15	体操服での登校は廃止してほしい。	登校してすぐに運動場で遊ぶ子がたくさんおり、体育の時間に着替える手間も省けるため、体操服登校が機能的で便利だと、学校としては考えています。PTA役員会等で保護者のご意見を聞きながら検討していきます。
16	合奏部の楽器を増やしてほしい。(トランペット、トロンボーン等の管楽器)	管楽器を新しく購入するためには多額の予算が必要になります。また、管楽器を演奏できるようになるには、練習時間を大幅に増やす必要があり、子どもたちへの負担も大きくなります。そのため、管楽器を増やすことは、むずかしいと考えています。
17	予算等大変かと思いますが、教室にエアコンをつけてほしいです。	学校予算での設置は不可能です。市教委の判断に従いますが、美馬市の中学校では全教室エアコンを平成25年度に設置しました。小学校でも近年中に設置されると思われます。
18	「土曜半日授業」「三学期制」の復活を強く望みます。	現在土曜授業は、石井町・板野郡で実施、2学期制は美馬市、鳴門市等で実施しています。いずれも学校独自で進めることはできません。市教委の判断に従いながら取り組んでいきます。
19	体育館トイレに手ふきタオルを置いてください。	衛生上、手ふきタオルの設置は考えていません。子どもたちには自分でハンカチやタオルを持ってくるように指導しています。どうかご理解ください。
20	給食のパンを廃止し、週5日すべて米飯にしたいです。日本人には、お米の主食が一番体に合っていると思います。世界的に和食が注目されています。米飯メニューにすると和食献立も作りやすく栄養バランスも良いのでは？	現在週3日米飯給食を行っています。これは市全体で決まっていることなので学校独自で変更することはできません。市教委と相談しながら進めていきたいと考えています。
21	給食に使用されている原材料の産地、製造元の所在、原産国などの公開をしてほしい。	給食にはたくさんの原材料を使用しており、急に変更になる場合もあるため、すべてを公開することはむずかしいです。個人的に知りたい方は、栄養士までご連絡いただくと対応いたします。
22	子ども自身が学校を休みたくないと言っている。学校が大好きと言っている。この言葉を聞いて親として安心しています。	たくさんの感謝の言葉をいただきありがとうございました。岩倉地域は、自然環境に恵まれ、地域や保護者の方も学校教育に対してたいへん協力的であり、子育てに適した環境にあると感じています。子どもたちが生き生きと活動し、輝く姿が見られることは、教職員にとっても大きな喜びであり、やる気につながります。今後も地域や保護者の皆様と連携し、「チーム岩倉」で一致団結して取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。
23	学校、地域、家庭が連携し子どもの生活が安心、安定できるよう心がけていただいています。とてもいい学校であると大変満足しています。	
24	学校(先生方)と生徒と地域社会(保護者)とのコミュニケーションがよくとれていて、子どもたちが安心して学校生活をおくれていると感じます。	
25	子どもたちが良い方向へ向かうよう学校も親も同じ方向へ向いて協働できる環境が整えられていると思います。	

※アンケートの記述について(お願いとご確認)

・記述内容については、よく似た項目はまとめて記載しています。

・個人名、特定の施設等へのご意見が記述されている内容につきましては、人権問題や確認できない状況、つまり判断しかねる場合等は記載をしていない場合がございますのでご了承ください。

この件について、ご意見があれば、教頭、または校長まで申し出てください。